

令和7(2025)年 No.1311

広報 **いせはら**

Public Relations Paper

主な記事

- 2 令和7年度 施政方針
- 4 はじめまして こどもみらいプラザです
- 8 子育て家庭へ紙おむつなどの支給が始まります

4月1日

ISEHARA

育つ、育てる みんなを応援します

特集

こどもみらいプラザが オープンしました

◇ 4・5 面に関連記事を掲載



令和7年度施政方針 誰もが住みたい、住み続けたいと思える伊勢原へ

萩原市長は、市議会3月定例会初日の2月17日、令和7年度の市政に関する基本的な考え方や、重点的に取り組む施策などを示す「施政方針演説」を行いました。その概要となります。



我が国の経済は緩やかな回復基調にある中、本市を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。新東名高速道路は令和9年度に全線開通予定であり、伊勢原大山インター周辺の産業用地についても、令和9年度から土地利用の開始が見込まれています。また、小田急電鉄株式会社の総合車両所も令和15年度の操業開始に向け、準備が進められているところです。さらに、4月には子育て支援の拠点となる新築分庁舎の供用が開始されます。

このような大きな変化を捉え、さらなる市民サービスの向上へとまちづくりの進化を図り、市民の皆さまに希望を持っていただける

ような大きな変化を捉え、さらなる市民サービスの向上へとまちづくりの進化を図り、市民の皆さまに希望を持っていただける

よう努めることが重要であり、子育て世代や障がい者、高齢者など、誰もが住みたい、住み続けたいと思える伊勢原を創り上げるため、可能な取り組みから進めてまいりたいと考えています。

令和7年度当初予算は、市長として初めて編成する当初予算となります。

昨年10月臨時会において述べた6つの約束を軸に、第6次総合計画で掲げる将来都市像「暮らしやすさ実感都市 伊勢原」の実現に向けて、今取り組むべき施策を着実に進めるための予算として編成することといたしました。

市民サービス水準の維持に必要な財源を確保しつつ、歳出規模の抑制を図るとともに、未来への投資に財源を配分し、本市の将来へとつなげるまちづくりを推進するための予算編成に注力しました。

先人たちから受け継がれた恵まれた環境を生かしつつ、新たな魅力を創出し、誰もが暮らしやすさを実感し、住み続けたいと思えるまちづくりに向け、施策の一層の推進に、また財政の健全化に全力で取り組んでまいります。

令和7年度の主な取り組み

災害や危険から命と暮らしを守る 強くしなやかなまちづくり (防災・安全分野)

大規模災害時の通信途絶などに備えて通信手段を確保するため、最新技術を搭載した無線機を導入するとともに、再整備した県防災行政用通信網の適切な管理・運営を行うほか、成瀬中学校にマンホールトイレユニットおよび収納庫を整備し、避難所における衛生環境の向上に努めます。

誰もが生涯にわたり 安心して健やかに暮らせるまちづくり(福祉・保健分野)

在宅で生活する重度の要介護者や認知症高齢者の通院や買い物など外出時の経済的負担と介護者の負担を軽減するため、タクシー利用助成券を交付します。

子どもを産み育てやすく 豊かな学びで未来を拓くまちづくり(子育て・教育分野)

子育てしやすい環境づくりに向け、紙おむつなどの支給により、子育て世帯の経済的負担軽減を図ります。また、「妊産婦健康診査」や「妊婦歯科検診」に係る費用の一部を助成するとともに、「新生児聴覚検査」費用の一部に対する助成を行うなど、子育て支援の一層の充実を図ります。学校教育を取り巻く環境変化に対応し、教育水準の維持向上を図るため、市立小・中学校の望ましい学校規模などに関する基本方針の策定に取り組むとともに、学校施設個別施設計画の改定、今後の学校プールと給食施設の在り方について検討を進めます。

活気にあふれ 地球環境にやさしいまちづくり (産業・環境分野)

プラスチック使用製品廃棄物の分別収集を令和8年度から開始するため、圧縮設備などの機械更新を含めた中間処理業務委託を開始し、分別収集・再資源化体制を構築するほか、ペットボトルの中間処理業務を民間事業者施設で行い、資源物の安定的な処理・再商品化体制を構築します。

都市基盤が整った 快適で暮らしやすいまちづくり(都市基盤分野)

多様な主体との連携により、新たな地域拠点の創出に向けたまちづくりの調査・検討を行うとともに、県が実施する第8回線引き見直しにおいて創出を図る新たな産業系市街地における土地利用に向けた調査・検討を進めます。伊勢原駅北口市街地の再開発事業において再開発組合を支援するとともに、関係権利者の合意形成を図るほか、伊勢原大山インター土地区画整理組合に対する技術的援助や補助金交付により、土地区画整理事業の円滑な推進を図ります。都市計画道路田中笠窪線の整備を計画的に進めるほか、安全な交通環境や歩行空間の確保に向け、交通安全施設の整備を計画的に推進します。

みんなの力で進める 持続可能なまちづくり(市民・行政分野)

マイナンバーカード交付専用窓口において、マイナンバーカードを活用して更新用の申請書などの自動作成を行い、来庁者が負担なく手続きできるよう取り組みを進めるほか、マイナポータルや市LINE公式アカウントなどの活用により、行政手続きのオンライン化の拡大を図り、市民、事業者などの利便性の向上に努めます。

市役所の組織が変わりました

新たな行政課題や市民ニーズに対応するため、4月1日付けで組織が変わりました。子どもみらい部の組織については4・5面をご覧ください
☎職員課☎94-4873

課・係の新設

企画部に**発想フルリン課**を新設☎95-4447
総務部文書法制課に**コンプライアンス推進係**を新設☎74-5310
教育部学校教育課に**徴収金管理係**を新設☎74-5851
※スポーツ課と選挙管理委員会事務局の事務室は本庁舎5階へ移転しました

部・課の名称変更

子ども部 → 子どもみらい部
生活福祉課 → 生活支援課
介護高齢課 → 長寿介護課
国県事業対策課 → 国県・企画調整課

課・係の統合

企画部
デジタル・行政経営課
— 行政経営係☎94-4846
— デジタル推進係☎94-4550
— 情報システム係☎94-4550
経営企画課行政経営係とデジタル推進課を統合

都市部

都市政策課
— 都市政策係☎94-4742
— 公共交通対策係☎94-4739
— みどり公園係☎94-4759

都市政策課とみどり公園課を統合

保健福祉部

地域福祉推進課
— 福祉総務係☎94-4718
— 地域包括ケア推進係☎94-4719

福祉総務課と介護高齢課地域包括ケア推進係を統合

令和7年度

予算の概要

総額654億2700万円

未来への投資 新たな魅力の創出へ

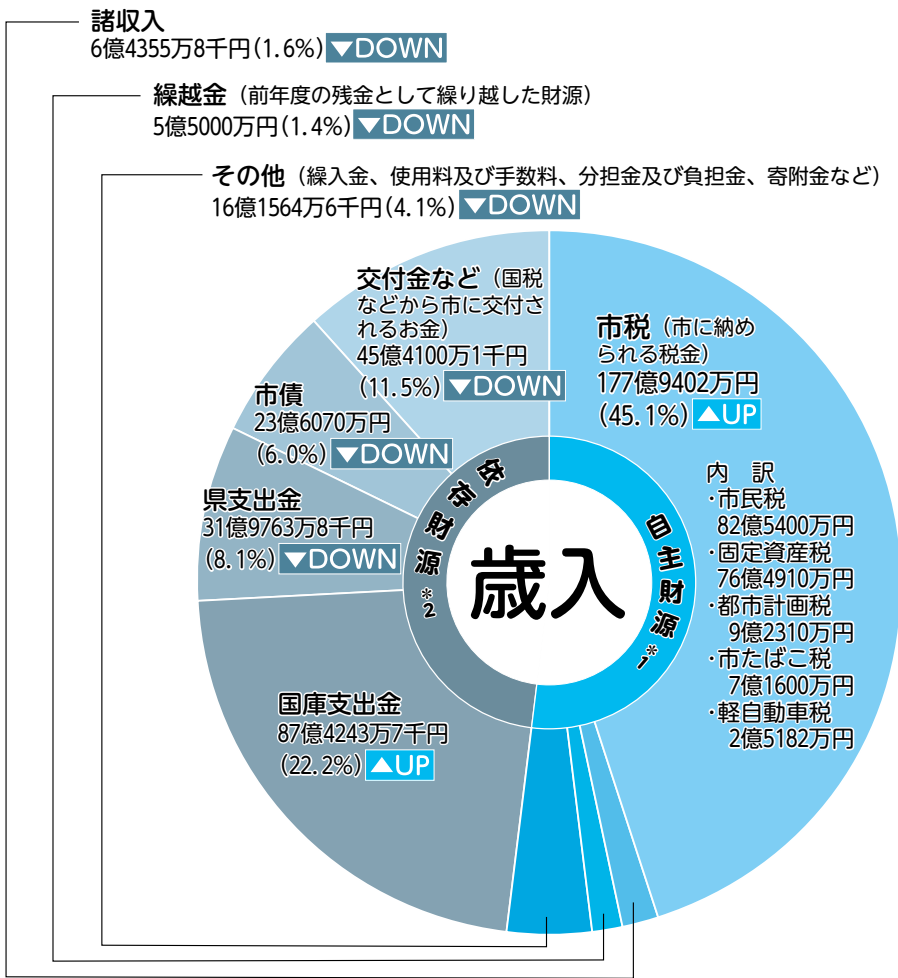
誰もが暮らしやすさを実感し、住み続けたいと思えるまちづくりに向け、今取り組むべき施策を着実に進めるための予算としました。

予算の詳細は、市ホームページをご覧ください。
 財政課 ☎94-4862

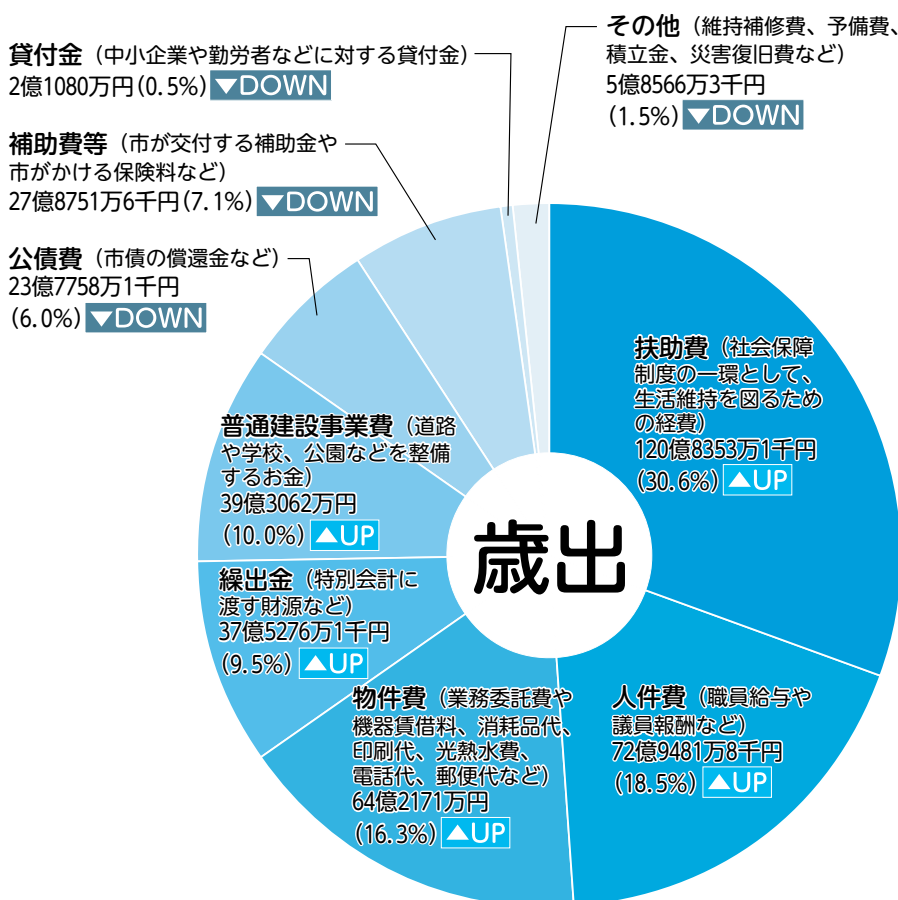


市ホームページ

一般会計394億4500万円



*1 自主財源…市が自ら収入できる財源
 *2 依存財源…国・県が定めた基準により交付される支出金や、市が借り入れる財源



令和7年度各会計予算総括表

会計名	令和7年度予算額	前年度予算との比較(伸び率)
一般会計	394億4500万円	+14億7200万円(+ 3.9%)
特別会計		
国民健康保険事業	91億7000万円	-4億8800万円(- 5.1%)
用地取得事業	6億 400万円	+4億8200万円(+395.1%)
介護保険事業	84億7600万円	+1億8500万円(+ 2.2%)
後期高齢者医療事業	18億9600万円	+7700万円(+ 4.2%)
計	201億4600万円	+2億5600万円(+ 1.3%)
① 公共下水道事業	58億3600万円	-2億9500万円(- 4.8%)
合計	654億2700万円	+14億3300万円(+ 2.2%)

①…公営企業会計 ※各表内の数値は小数点第2位を四捨五入しています

市民一人当たりの予算の使い道

合計38万9119円(+1万4521円)

※令和7年3月1日現在の人口、10万850人で算出。()内は前年度との比較

民生費 17万9028円(+9106円)	公債費 2万3575円(-895円)
児童や障がい者、高齢者などの福祉	市債の返済
土木費 4万7872円(+6701円)	消防費 1万4979円(-5442円)
道路や河川、公園などの整備・維持補修	消防や救急、防災関係
総務費 4万7515円(+5320円)	商工費 4645円(-827円)
住民登録や交通安全対策、選挙など	商業や工業、観光の振興
教育費 3万4246円(+3305円)	農林水産業費 4499円(-937円)
小・中学校や生涯学習、スポーツなど	農業、林業の振興
衛生費 3万1825円(+183円)	その他 2940円(+11円)
ごみ処理や環境対策、健康管理など	

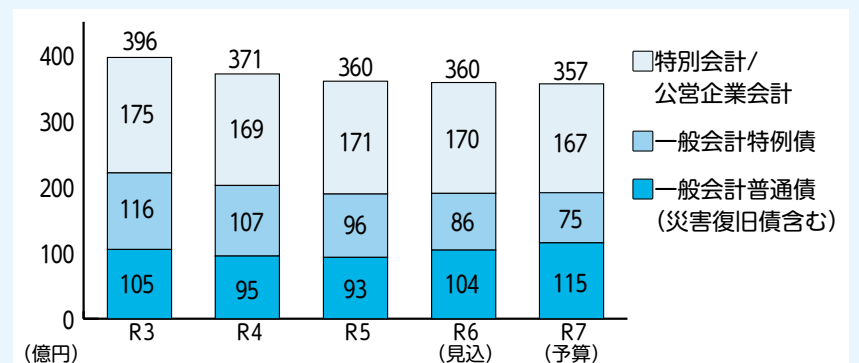
市債残高

公営企業会計で借入れが増加するものの、令和7年度の市全体の市債残高は減少する見込みです。市債の借入は、後年度に財政負担をもたらすということを十分認識した上で適切に管理・運営を図っていきます。

	令和7年度末現在高(見込)	令和6年度末(見込)との比較
一般会計	190億8301万3千円	+7737万9千円
普通債	114億6311万円	+10億9154万9千円
災害復旧債	3553万4千円	-58万4千円
特例債	75億8436万9千円	-10億1358万6千円
特別会計	1億2288万7千円	-1億7662万7千円
用地取得事業	1億2288万7千円	-1億7662万7千円
公営企業会計	165億2995万7千円	-1億3,447万5千円
公共下水道事業	165億2995万7千円	-1億3,447万5千円
合計	357億3585万7千円	-2億3372万3千円

※数値は、各年度末の元金(利息は含まない)の見込額です

市債残高の推移



はじめまして こどもみらいプラザです

令和6年6月から建築を進めてきた、分庁舎「こどもみらいプラザ」が本庁舎東側(伊勢原協同病院側)に完成し、本市の子育て支援拠点施設として4月1日から運用を開始しました。
子どもの健やかな成長に向け、これからも子育て支援機能の充実に努めます。
☎こどもみらい課 94-4633

子育て支援センター 「クルリンにじっこひろば」

新しい遊具をそろえたクルリンにじっこひろばは、気軽に楽しめる遊び場です。ねんねの時期の赤ちゃんとおんよが楽しいお子さんのスペースが分かれているので、安心して過ごせます。



すくすくルーム

産後ケアなどの母子保健事業を実施するスペースとして活用します。事業がない日は、すくすくルームを子育て支援センタークルリンにじっこひろばとして一体的に利用します。

ファミリー・サポート・センター

「病院に行きたいので子どもを預けたい」「保育園の送迎を手伝ってほしい」「少し子どもから離れてリフレッシュしたい」など、子育てのお手伝いをしてほしい人とお手伝いをしたい人をつなぎ、地域での子育てを応援します。近くに頼れる人がいない子育て中の人は、ご相談ください。

おむつ交換台・授乳室

おむつ交換台やフィッティングボードのほか、安心して利用できる個室があります。ミルクを作るための調乳用温水器も併設しています。お父さんも気軽にご利用ください。



2F

子育て支援センター
「クルリンにじっこひろば」

すくすくルーム

会議室

相談室4

事務室

ファミリー・サポート・センター

1F

子ども若者支援課

受付

子ども家庭相談課

受付

キッズスペース

こどもみらい課

保育・幼稚園課

相談室1

相談室2

相談室3

正面入口

こどもトイレ



相談室



おむつと飲料の自動販売機

飲料に加えて乳児用紙おむつやおしりふきを購入できる自動販売機を設置しました。急におむつが必要になった場合も、安心してゆっくり過ごすことができます。
また、購入する際は、おしゃべりする自動販売機がみなさんを和ませてくれます。近くを訪れた際も、ぜひご利用ください。



キッズスペース

待ち時間に親子で遊んだり、くつろいだりできるキッズスペースを1階の中心に設置しました。自由に過ごす子どもたちを囲むように受付窓口を配置した「こどもまんなか」なレイアウトです。



子育て世代が集う場所に

「プラザ」はスペイン語で「公共の広場」という意味です。「こどもみらいプラザ」には、たくさんの子育て世代の人が気軽に集まれる場所になってほしいという願いが込められています。

これまで本庁舎(1階・5階)に分散していた子ども部の4課を1施設に集約したことで、来庁者が妊娠・出産期～青年期の子育てに関する相談・手続きなどをスムーズに行うことができます。また、2階の会議室などは災害時に受援体制を確保するための場所でもあり、市が被災した場合に他の自治体や自衛隊などから派遣された職員の活動拠点となります。

新たな「こどもみらい部」

子どもたちと一緒に未来に向かって「こどもまんなか社会」を実現するため、「子ども部」は「こどもみらい部」に名称が変わりました。

こどもみらい課(旧:子育て支援課)

- 子育て支援係 94-4633 ●母子保健係 94-4637
- 子育て支援センター 74-5558 ●ファミリー・サポート・センター 74-5596

助産師、保健師、栄養士などが母子健康手帳の交付をはじめ、妊産婦・乳幼児の健康診査や子育て相談などを行っているほか、子育て支援センターやファミリー・サポート・センターに関する事務も担当しています。また、児童手当や児童扶養手当、こども医療費の給付・助成を行います。

保育・幼稚園課(旧:子ども育成課)

- 給付・監査係 94-4638 ●認定・入所係 94-4641

保育所、幼稚園、認定こども園などの利用案内や手続きに関する事務を担当しています。また、保護者の就労などにより、育成を受けられない小学生を対象とした児童コミュニティクラブ(学童保育)に関する事務を行います。

こども家庭相談課

- こども相談係 94-4642
- 発達・療育相談係 74-5156 ※相談用電話(☎92-1095)は廃止します

子どもの発達相談や児童虐待の防止対策など、子どもと家庭に関する総合的な相談を受け付けます。また、障がい福祉課で行っていた障がい児通所支援サービスに関する事務などの窓口は、4月からこども家庭相談課になりました。

子ども若者支援課(旧:青少年課)

- 育成・相談係 94-4647
- 青少年相談係 94-1030 ●ヤングテレホン 96-0800

青少年指導員や子ども会など青少年育成団体への活動支援、ジュニアリーダーの育成、はたちのつどいに関する事務を担当するほか、放課後子ども教室(いせはら未来っ子クラブ)の運営、児童館・青少年広場の維持管理を行います。
青少年相談室では、子どもや若者に関する幅広い相談を受けます。

市長メッセージ

こどもみらいプラザがオープンしました。市民の皆さまをはじめ、ご尽力いただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。
この施設が子育て支援の拠点となって、子どもの健やかな成長を一層サポートしてまいります。皆さまが気軽に立ち寄ることができるような親しまれる場となっておりますので、ぜひ、お越しください。

伊勢原市長 萩原鉄也

いせはら 掲示板

※費用の記載がないものは原則無料です。お問い合わせは各担当へ、郵送は「〒259-1188伊勢原市役所〇〇〇課」で届きます(住所の記入は不要です)
※催しなどの対象は原則、市内在住・在勤・在学の人です

お知らせ

国勢調査の調査員を募集

「令和7年国勢調査」の調査員を募集しています。調査票の配布・回収、調査書類の整理などを行います。仕事や家事などのスキマ時間を使って、自分のペースで進めることができます◇応募資格＝選挙、警察用務に直接関係のない20歳以上の人◇従事期間＝8月中旬～10月中旬(予定)◇報酬＝1調査区(4万円程度)、2調査区(7万円程度)※調査世帯数により増減あり 市ホームページ、または電話か直接市役所4階の担当へ 5月31日(土) 国勢調査実施本部(経営企画課内) 74-5608

地方税統一QRコードを利用した電子納税の利用

納付書に印刷されたQRコードをスマートフォンで読み取ることで、市税の納付ができます◇対象税目＝市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税(償却資産を含む)、軽自動車税(種別割)、国民健康保険税(普通徴収)◇納付方法＝地方税お支払サイト、全国の地方税統一QRコード対応の金融機関窓口※詳しくは納付書の裏面で確認を 94-5495

市税の納付は口座振替で

預金口座から納期に合わせて自動的に振替ができます インターネット(Web)口座振替受付サービス)、市役所1階の担当(ペイジー)口座振替受付サービス)、市指定の金融機関窓口

4月の相談

※費用はすべて無料、★印は要予約

会場	相談	日時	担当
①	法律相談★ (予約は相談日の週初めから)	11日(金)・18日(金)・25日(金) 13:00～16:00	人権・広聴相談課 94-4717
	司法書士相談★	10日(木)13:00～16:00	
	税務相談★	15日(火)13:00～16:00	
	社会保険労務士相談★	9日(水)13:30～16:00	
	行政相談★	16日(水)13:30～16:00	
	不動産相談★	17日(木)13:30～16:00	
	行政書士相談★	14日(月)・28日(月)13:30～16:00	
	人権相談★	21日(月)13:30～16:00	
	消費生活相談	平日9:30～12:00、 13:00～16:00	
	マンション管理相談★ 18日(金)	23日(水)13:00～16:00	
②	成年後見などの行政書士相談★	9日(水)13:00～15:00	成年後見・権利擁護推進センター(社会福祉協議会内) 94-9600
	高齢者・障がい者などの法律相談★	16日(水)16:00～18:00	
③	精神保健福祉相談★	10日(木)13:30～16:30	平塚保健福祉事務所 秦野センター 保健予防課 94-1428

①市民相談室②伊勢原シティプラザ③市役所分室

日曜日 開催場所 対象 定員 費用 申し込み 締め切り 問い合わせ 担当 電話番号 FAX番号 メールアドレス



市ホームページ

7人 槽71万4000円、10人 槽84万8000円◇設置工事の着手前に担当へ※他の補償や補助との併用不可 環境対策課 94-4735

介護保険料の仮徴収額通知書を発送

年金からの天引きによる納付 新たに年金からの天引きが開始される人には、4月上旬に仮徴収額通知書を発送します(昨年度から継続して年金からの天引きとなる人は送付されません)。仮徴収額は4・6・8月に年金から天引きされます。令和7年度分保険料の本算定後の通知書は7月中旬に発送します。

納付書または口座振替による納付

4月中旬に第1～3期分の仮徴収額通知書を発送します。第4期分以降と最近転入した人、65歳になったばかりの人は本算定後の通知書を7月中旬に発送します。 長寿介護課 94-4722

国民健康保険税の仮算定納税通知書を発送

年金からの天引き(特別徴収) 4月上旬に4・6・8月の仮徴収額通知書を発送します。令和7年度分保険料の本徴収額通知書は7月中旬に発送します。

納付書または口座振替による納付

4月中旬に第1～3期分の仮算定納税通知書を発送します。第4期分以降の本算定納税通知書は7月中旬に発送します。 保険年金課 94-4728

後期高齢者医療保険料の仮徴収額通知書を発送

年金からの天引き(特別徴収) 新たに特別徴収が始まる人には4月上旬に4・6・8月の仮徴収額決定通知書を発送します。昨年度から特別徴収を継続する人で徴収額に変更がある場合は、4月中旬以降に発送します。令和7年度分保険料の確定額(本算定)通知書は7月中旬に発送します。

納付書または口座振替による納付

仮徴収はありません。 保険年金課 94-4521

令和7年度国民年金について

国民年金保険料の変更 令和7年4月～8年3月までの保険料は月額1万7510円です。2年分、1年分または6カ月分を前納すると割引制度が適用されます。

学生納付特例制度

国民年金保険料の納付が猶予されます。申請は毎年度必要です 大学(大学院)や短大、専修学校などに在学する20歳以上の学生で、本人の前年所得が一定基準額以下または失業などの理由がある人 平塚年金事務所 22-1515 保険年金課 94-4520

緑のフリーマーケット出店者を募集

5月10日(土)・11日(日)に総合運動公園で開催する「公園緑花まつり」の出店者を募集します。出店時間は午前9時～午後4時まで(11日は午後3時まで)。いずれも雨天実施◇出店場所＝入口広場ほか◇出品物＝植物・野菜・穀物・木竹加工品・園芸用品◇募集区画＝30区画(1区画9㎡)、1人1日1区画まで◇出店料＝1区画1日500円 4月10日(木)午前9時～9時30分にいせはらサンシャイン・スタジアム内の事務室前で申込書を配布◇9時40分から抽選 都市政策課 96-6466

花いっぱい運動の協力団体を募集

年2回、市が配布する花苗を沿道に植え、地域の美化・緑化活動を行う団体を募集します 年間を通して植栽と管理ができる団体 団体名、代表者の住所・氏名・電話番号、植栽場所と面積(5㎡以上)またはプランター数、花苗の配布希望日時(6月中)を明記し郵送(〒259-1111西富岡320)か FAX、または電子メールで担当へ 4月15日(火) 都市政策課 96-6466 96-6467 kouen@isehara-city.jp

伊勢原駅北口地区の再開発の施行地区となるべき区域の縦覧・借地権の申告

第一種市街地再開発事業の施行地区となるべき区域の図面の縦覧を行います◇縦覧期間＝4月15日(火)まで 市役所2階の担当◇市ホームページからも縦覧可 借地権の申告 区域内に未登記の借地権を持っている人は、都市再開発法の規定により申告してください。申告書は市ホームページまたは市役所2階の担当へ 対象区域内に未登記の借地権を持っている人 4月30日(水) 市街地整備課 94-4764

いせはら市展(6/11～29)の作品を募集

日ごろの創作活動の成果を発表する有審査の公募展です◇部門＝①絵画、版画、彫刻、陶・工芸②書、写真 市内在住・在勤・在学か、近隣市(厚木市・秦野市・平塚市)在住の人、または主に市内で創作活動をする15歳以上の人(中学生や中等教育学校前期課程の生徒を除く) 1点目2000円(学生1000円)、2点目1000円※1部門につき1人2点まで 市ホームページの申込フォームまたは各公民館で配布する申込書に記入し① 5月1日(木)～14日(水)、②は5月15日(木)～6月1日(日)に郵送または各公民館へ 社会教育課(中央公民館内) 93-7500

伊勢原農業振興地域整備計画(変更)の縦覧

農用地利用計画などを定める計画を見直し、変更する計画案の縦覧を行います。期間中は意見書の提出ができます。農用地区域内の農地所有者などは、縦覧期間終了後15日以内に異議申出をすることができます◇縦覧期間＝4月23日(水)まで 市役所2階の担当 農業振興課 94-4648

催し

人形劇まつリン

小さい子ども向けの楽しい人形劇 5月4日(日)午前9時30分～ 市民文化会館小ホール 都市民文化会館 92-2300

南部ボランティア養成講座

地域活動を担うポイントや認知症を学ぶ①防災食講座②福祉用具の正しい使い方③認知症サポーター養成講座④おもしろなゲーム、情報交換 5月21日(水)②6月19日(木)③7月30日(水)④8月21日(木)の午前10時～11時30分 伊勢原南公民館 20人(申込順) 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し電子メール、または電話で問い合わせ先へ 5月16日(金) 南部地域包括支援センター 71-6616 nanbu@isehara-shakyo.or.jp 地域福祉推進課 94-4719

家族介護者教室「介護保険の制度や仕組みについて学ぶ」

地域包括支援センターの職員が解説します 4月27日(日)午前10時～正午 伊勢原シティプラザ 30人(申込順) 地域福祉推進課 94-4719

ペン習字体験教室

基本の線と文字の書き方のコツを学ぶ 5月9日(金)・23日(金)の全2回、午前10時～正午※1回のみの参加可 10人(申込順) 4月18日(火)午前9時から電話か直接担当へ 成瀬公民館 95-1096

エアロビクス教室

誰でも気軽に参加できます。詳しくは担当のホームページで確認を 4～6月の毎週火・金曜日(5月9日を除く)の午前10時30分～11時30分 総合運動公園体育館 高校生以上の人 70人(先着順) 1回300円 元気な伊勢原づくり共同事業体 92-3536

図書館

【休館日】4/7・9・14・21・28

おはなし会

おはなしばる～ん(0歳児以上) 4月8日(火)・10日(木)の午前11時～11時30分

なないろらんぶ(5歳児以上)

4月12日(土)午前11時～11時30分

野の会による視覚障がい者向け対面朗読サービス

希望する人は電話で申し込みを。

子ども科学館

【休館日】4/7・9・14・21・28 イベントの申し込みは子ども科学館ホームページから電子申請。入館料やプラネタリウム投影番組など詳しくは、子ども科学館ホームページで確認を。

天体観察会「クワデーの日」

望遠鏡で月や惑星などを観察(入場自由) 4月5日(土)午後7時～8時※中学生以下は保護者同伴。雨天・曇天時は中止

たぬき先生のたのしいおもちゃ作り

4月5日～27日の毎週土・日曜日、29日(火)の午後2時20分～3時 4歳～小学校6年生各日10人(先着順)※小学校4年生以下は保護者同伴

やさしい木工教室

4月19日(土)午後1時15分～2時15分 小学校3年生～中学生2人(申込順)※小学生は保護者同伴

入館者工作・実験教室「実験飛ばせ、イカ飛行機」

4月20日(日)・27日(日)の午後1時15分～2時15分 小学生～中学生各日8人(申込順)※小学校4年生以下は保護者同伴

天文工作教室「月と地球を作って、観察しよう」

4月26日(土)午前10時～正午 小学校3年生～中学生12人(申込順)※小学生は保護者同伴

親子木工教室

4月26日(土)午後1時15分～3時15分 小・中学生と保護者4組8人(申込順)

4月から帯状疱疹ワクチンの定期接種が始まります

対象者には、接種券(黄土色)をお送りしています。副反応やワクチンの発症予防効果など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

対象 これまでに帯状疱疹ワクチンを受けていない市ホームページ次の人 ◆令和7年度に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳・101歳以上の誕生日を迎える人 ◆60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な人 接種場所 市内と一部近隣市の契約医療機関◇予約は直接医療機関にご連絡ください 接種回数と自己負担額

使用ワクチン	接種回数	自己負担額
生ワクチン	1回	2700円
不活化ワクチン	2回(1回目から2カ月あけて2回目を接種)	1回 7000円

※生活保護世帯の人、世帯全員が市県民税非課税の人は接種料が免除になります。事前に担当へ申請してください 健康づくり課 94-4609



伊勢原、厚木、秦野、愛川、清川の5市町村が観光振興で連携している「県央やまなみ地域」の魅力や、毎月順番で紹介しています。紙面では伝えきれない5市町村の観光にまつわるコラムを、神奈川新聞ニュースサイトでも紹介します。右のQRコードからご覧ください。

第11回 風情あふれる古民家カフェ

神奈川の「水がめ」、宮ヶ瀬湖から東に入った愛川町の山肌には、古民家を改装したカフェが点在しています。丹沢に抱かれた里山の雰囲気に魅せられた人々が、地域に残る家々に新しい価値を吹き込む試みです。緑に囲まれて時間がゆっくり流れる空間で、コーヒーの香りを楽しめます◇続きはニュースサイトをご覧ください 愛川町商工観光課 046-285-6948

みんなの伝言

○ イベント ○ ● 散策の写真展 撮影散策と個人散策で撮影した写真展◇会員募集中 4月12日(土)午前10時30分～午後4時 中央公民館 090-2626-9523

● いせはらフィルハーモニーオーケストラ定期演奏会 チャイコフスキー「悲愴」ヨハン・シュトラウス「こうもり」序曲ほか 4月20日(日)午後1時30分～◇開始の30分前から開場 市民文化会館大ホール 080-3426-3991

● 伊勢原麻雀道場 ステージにあわせてマージャンを学ぶ◇初心者歓迎 平日午前10時～午後9時30分、土・日曜日午前9時～午後9時30分 伊勢原麻雀ハウス(伊勢原2丁目) 1回250円 080-1726-8006

● 開村400年の伊勢原をガイドと歩こう 400年前に突如出現した伊勢原を巡る 4月19日(土)午前9時～午後0時30分

みんなの伝言に掲載を希望する人は、掲載希望号発行日の2カ月前から1カ月前までに書面で広報戦略課へ(先着順)。



子育て家庭へ紙おむつなどの支給が始まります

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、紙おむつなどを支給します。支給には申請が必要です。詳しくは市ホームページをご確認ください※支給開始は6月ごろを予定しています



市ホームページ

- 対象者** 市内に住民登録がある令和7年4月1日以降に生まれた子どもを養育している父母など
- 申請方法** 市ホームページから電子申請または直接担当へ◇1歳を迎える誕生月の月末までに担当へ申請してください
- 支給品** 月4500円相当の紙おむつやおしりふきなど
- 支給期間** 支給開始月から毎月1回(全12カ月)
- ☎** こどもみらい課 ☎94-4633

市役所駅窓口センターの開庁日が変わります

市役所駅窓口センターは、これまで年末年始を除き毎日開庁していましたが、駅窓口センターの証明書発行状況や、コンビニ交付サービス、電子申請などの状況を鑑み、7月から開庁日を週5日に変更します。

7月からの開庁日・開庁時間

	変更前	変更後
開庁日	月～日曜日(年末年始を除く)	月・水・金～日曜日(年末年始を除く)
開庁時間	平日 午前9時30分から午後8時	土・日、祝日 午前9時30分から午後5時
	土・日、祝日 午前9時30分から午後5時	

コンビニで証明書が取得できます

マイナンバーカードをお持ちの方は、市役所の窓口に行くことなく、全国のコンビニエンスストアに設置されているマルチコピー機などのキオスク端末で証明書が取得できます。

証明書	手数料	時間
住民票の写し	300円	午前6時30分～午後11時
印鑑登録証明書		
戸籍全部(個人)事項証明書	450円	午前9時30分～午後5時
戸籍の附票の写し		
課税所得証明書	300円	午前6時30分～午後11時

☎ 戸籍住民課 ☎94-4713

教育長に宮村進一氏が就任

山口賢人教育長の退任に伴い、議会の同意を得て4月1日付で、宮村進一氏が教育長に任命されました。任期は、前教育長の残任期間の1年間です。宮村教育長は、市内中学校教諭や、伊勢原市教育委員会指導室長、成瀬中学校長、県教育委員会支援部長、同教育参事監などを歴任しました。

☎ 教育総務課 ☎74-5104



宮村進一教育長



日向地区を見守る「日向神社」

日向地区の守護神 日向神社

市民リポーター
芦原秀人さん



高部屋小学校前を走る市道1号線を北上すると彼岸花で有名な日向地区に入ります。日向地区は市の北端に位置し、大山を源流とする日向川沿いに集落があり、新田、馬場、洗水、藤野、坊中、高橋の4地区で形成されています。日向薬師バス停を通り過ぎると、のどかな農村地帯の石垣の上に築かれた神社が現れます。その神社が、日向神社です。日向神社は、もともと「白髯神社」と呼ばれ、新編

相模国風土記稿、皇国地誌などに記載される古い社で、8世紀に日向薬師を開いた行基に協力を惜しまなかった渡来人、高麗王若光をたたえて創建されました。社名の「白髯」は若光が美しい白髯の持ち主であったことから名付けられたと、現在も白髯神社の名は、鳥居や拝殿の扁額に見ることが出来ます。

狭い境内の真ん中に社殿が建っており、神社西側の道路が薬師の旧参道で、かつては参道を挟み熊野権現と白髯神社がありました。現在は日向神社に熊野権現と白髯権現が合祀されています。

春の「例祭」では、4地区から山車・太鼓や子ども神輿が集まり、お祓いを受けた後、日向地区の人々は現在も、日向神社を「白髯神社」と親しみを込めて呼んでいます。そこからは、長年地域を守り続けた神社と人々の強い結びつきを感じ取ることが出来ます。

広告 神奈川・東京で54の葬祭施設を運営し、年間約7,500件のご葬儀をお手伝いする平安レイサービズ(株) 伊勢原市内の直営葬祭施設や当社の取組みについてご紹介

各館P完備

1 湘和会館 伊勢原
伊勢原市伊勢原3-5-6 毎日10～18時開館

2 湘和会館 愛甲石田
伊勢原市石田596-1 月・水・土・日曜10～16時開館

3 湘和会館 鶴巻
伊勢原市笠窪421-2 月・水・土・日曜10～16時開館

ご家族だけの貸切空間

面前調理でおもてなし

お式までのご安置を承ります

24時間面会可能

☎ 0120-24-8130

広告 不動産に関わる 50th Anniversary 終活のことなら大雄へ。

いまさら聞けない 終活の基本でお悩みの皆様 「考えた時」が「相談時」です

元気な内にやっておきたい「終活」手続き等について何をすれば良いか… ご相談内容はどんなものでも構いません。お客様一人一人の状況に合わせて 親身に対応させていただきます。お気軽にご相談ください。

DAIYU 株式会社 大雄 TEL: 0463-33-8000 HPはコチラ▼

中原店 〒254-0075 平塚市中原1丁目17番1号

神奈川県知事免許(14)第7627号(公社)全国宅地建物取引業保証協会会員 (公社)神奈川県宅地建物取引業協会会員 (公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟